



飯田西中学校だより

むつみ育てん まごこうき



令和4年7月26日 No. 4

ひづくん

1学期終業式 宮下校長先生のお話より

今月8日参議院選2日前に、阿部元首相の暗殺事件があり、日本に衝撃的なニュースが流れ世界をも震撼させました。情報が定かではない事件発生当初は、政治的テロか？という憶測も流れました。この憶測は、現在の世界情勢と過去の日本の社会状況とを鑑みると、日本も戦争への道に行くのではないかという危険性を指摘した内容のものでした。その後、犯人の供述から事件の全容が紐解かれているところですが、人の命を奪ってしまったという結果に対しては、誰しもが許しがたい行為であると憤っているところでです。また、この事件や犯人のことは、それぞれの立場でそれぞれの人の考え方や感情で様々な情報が飛び交っているところなので、現段階では真実は何かがはっきりしていません。

私が思うことは、自分が辛く苦しんでいるときに相談する人がいなかったのだろうか、SOSを出せずに自分一人で抱え込んでしまったのではないだろうかとの想像です。辛く苦しい胸の内をSNSだけに頼るのではなく、対面でお互いに言葉を交わしていたのなら、追いつめられてしまう前に善後策を考えられたはずと思うのです。加えて、犯行後に残される人のことをなぜ想像できなかつたのだろうかとも思いました。逆境や不平不満の渦の中で、自己中心的かつ周りの人の気持ちに寄り添えない人であつたのではないかと思ってしまいます。

もう一つ思うことがあります。辛く悲しいときに彼は涙を流さなかつたのだろうかということです。泣くことによりセロトニンという脳内物質が活性化されます。これにより、ストレスに対抗し精神の安定が図られるそうです。

以上から、私は辛く苦しいときには、気持ちを聞いてもらったり涙を流したりすることが、事態を悪化させないための一つの手段だと考えるようになりました。

かざこし喫茶コーナー

安倍晋三元内閣総理大臣の御逝去に関する報道に日本島は大きな衝撃に包まれました。

今、令和の時代...、「元号」改める政令を閣議決定したのが当時の安倍内閣です。私は新元号の発表の際、安倍元首相が行なった記者会見の大変印象に残っています。

「令和には、人々が美しい心を寄せ合はず文化が生まれ育つ」という意味が込められている。「美しい花」の後に春の訪ねを告げ見事に咲き誇る梅の花のよう、一人の日本人が明日の希望とともに咲く花を大きく咲かせることができる。それが日本でありたい、という願いを込めます。つまりは、一人一人がもつている個々の特徴や力と生きながら、調和の中で自由に活動し活躍できる社会でありたいのです。

これを聞いて私は、真・先に平成の大ヒット曲「世界に一つだけの花」という歌を想起した覚えがあります。この名曲は令和2年秋小学4年生の道徳の教科書(光村図書)にも掲載され、歌のよくなりに気付き、交流し合ふことを通じて自分のものへなるよさを発見しようというのが大方の授業の大要だと思います。

この曲の歌詞から「個性の美しさ」といふ言葉が使われます。個性とは、いつも問いかれるのですが、他者と取り換えることできない一人一人の間からわざ個性でありそれはその人の一部分ではなく、全体であらう。ボソヒ道徳の授業の終末、「先生、捉えね...」と語る大見えがあります。見方や考え方、性格が違つてゐる人間同士が集まるからこそ美しさがあり、個性を大切にできる心を育むこの美しさがここにはあるのです。

この黒板を読んでくださっている「あなた」も、世界に一つだけの大好きな大切な、オンラインなのです。

安倍元首相のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

【図1】かざこし喫茶コーナー(教頭黒板)より

さて、このような暗いニュースの中、私に活力を与えてくれるのが、昨年の終業式でも話したとおり、メジャーリーグのロサンゼルス・エンジェルスに所属する大谷翔平選手の活躍報道を知るときであつたり、我が西中を評価し褒めていただいたりするときです。大谷選手の人間的素晴らしさの一つに「さりげないゴミ拾い」があります。彼はその理由を「人が捨てた幸運を拾っているだけ」と答えています。少し調べてみると、実は大谷選手は意識してグランドのゴミを拾っていたのだそうです。このきっかけとなつたのが2015年、日本にいたときのチームの大先輩、侍ジャパンの監督にもなつた稻葉篤紀選手が、ベンチ前のゴミを拾っている姿を見て感動したから、それを真似るようになったといふのです。そして大谷選手は、このことを「人が捨てた運を拾っている」と表現し、彼にとっては当たり前になつた行為が、自分自身の平常心を保ち、冷静にプレーするためのキーアクションにもなつてゐるのだそうです。

これはまさに、松井秀喜さんの座右の銘である

**「心が変われば 行動が変わる 行動が変われば 習慣が変わる 習慣が変われば 人格が変わる
人格が変われば 運命が変わる」**

そのものであると思いました。

また、大谷選手は先輩の行動を真似たと紹介しましたが、「学ぶ」の語源は「真似る」とも言われています。自分自身を成長させなければ、目指したい人の行為や言動などのよさを真似たり、思考・考え方から学んだりすることが、自分自身を向上させることにつながると思います。

大谷選手には大谷選手の生き方があります。大勢の人たちからの声援があり、様々な人たちに支えてもらひながら、大谷選手を知る人たちに活力を与えてています。世の中には、地元を離れて活躍する人もいれば、地元に残つて活躍する人もいます。どちらが凄いかではなく、どちらも凄いことです。

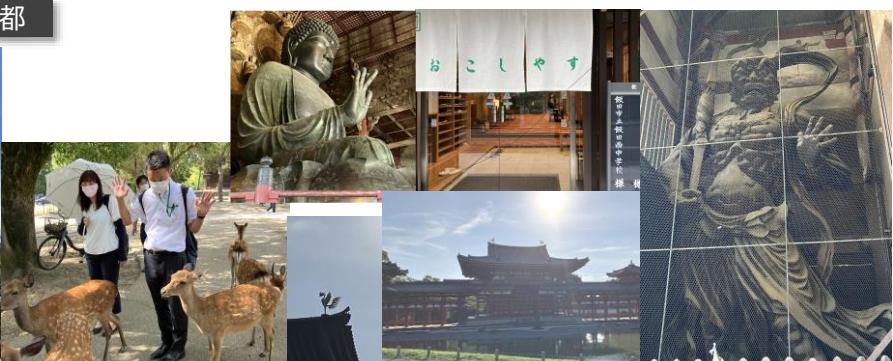
私たちは物事を白か黒かなどと二択で結論を出そうとしたり、ついつい比較したりすることがあります、このような判断基準は、人の価値観とか生き方などを狭めてしまう要因になつてしまふのではないかと私は危惧しています。

最後に、今年も昨年同様かそれ以上に我が西中の生徒や先生方の取り組みにより、周囲から「西中いいですね」の評価を得ています。生徒会活動を筆頭に、ボランティア活動への申込みの状況や地域と関わる活動、探究的な学習への取り組みや公開授業、部活動や中体連でも吹奏楽部と3年生の吉沢選手が卓球個人戦で県大会へ出場、2年生の宮澤選手と櫛原選手が陸上と水泳の北信越大会へ出場するなど、飯田西中の名前を広めてくれました。北信越大会に出場する二人の次なるステージは長野県代表選手という立場になります。

ところで、3学年吹奏楽部壮行会のときに、「試練は、乗り越えられる人にしか訪れない」という言葉を紹介しましたが、吹奏楽部の皆さんはこのことを証明しました。また、「今ある力+ α 」の力を發揮してほしいとも伝えましたが、まさに+ α が結集したので、不運にも出場が叶わなかったパート部分をしっかりと補ったのだと思いました。私は、「県大会出場を目指して」という目標よりも、「出場できない部員のために」という目的、部員の思いが一致することの方が、ベクトルが確かに強固に向かうのではないかと感じましたし、ピンチをプラスに転換させる考え・思考に加え、「ピンチのときこそ団結するんだ！」という吹奏楽部員の心意気というか底力を感じました。皆さん一番の応援団である保護者の方々の感激もひとしおだったことだと思います。本当によかったです。改めて祝福します。自分が所属する集団が活躍し、好印象や高評価をしていただけたと、承認欲求と所属欲求が満たされたためか、本当に心地よくなります。皆さんに感謝です。有り難うございます。

いよいよ夏休みを迎えます。この期間は授業がない日が日常になりますので、願わくは家庭学習が習慣となり充実することを期待しているところです。加えて、新型コロナウイルス感染症第7波が押し寄せていますので、目に見えないウイルスとの闘いと健康には十分気をつけてほしいと思います。また、交通安全やインターネット等のトラブルもなく、自ら考え方行動することから生まれる充実した日々が過ごせることを願っています。

3年修学旅行(1日目より) 奈良・京都



<保護者の皆さまへのお願い>



7月以降、新規感染者数が増加に転じている新型コロナウイルスに係わって、心配な状況が続いております。夏休み中も感染防止に努め、何かありましたら学校にお電話ください。休日と学校閉校日（8／10～16）は、校用携帯にご連絡ください。
080 - 7190 - 7148 (担当: 教頭)

その他、「学校からのお知らせ」、「今日のできごと」などの詳しい情報は、飯田西中学校のホームページをご覧ください。

<https://iidanishi-jh.iidacity-educationboard.com/>



(文責: 教頭 下平 将揮)